

令和3年度全国学力・学習状況調査の結果の分析及び活用について

学校名	伊勢原市立中沢中学校
-----	------------

1 調査結果の分析及び考察

	特長	課題
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が理解したことや考えたことを与えられた条件に従い、的確に書くことができる。 ・話し合いの話題や方向、質問の意図を捉えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章に表れているものの見方や考え方を捉えて、自分の考えを持つこと。 ・書いた文章を読み返し、語句や文の使い方、段落相互の関係に注意して書くこと。
数学	<ul style="list-style-type: none"> ・与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ることができる。 ・与えられたデータから中央値を求めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる。 ・事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる。
質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ・自分には良いところがある、と自己肯定感が高い生徒が多い。 ・学校に行くのが楽しい、友達と協力するのが楽しいと思う、など学校に対して非常に肯定的である。 ・総合や道徳の授業の中で友達と話し合う時に相手の話や意見を最後まで聞くことができる、自分の考えををしっかり伝えることができる、とコミュニケーションに対する意欲や社会性がしっかり身についている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・将来の夢や目標を持っている生徒の割合が全国や神奈川県と比較すると低い。 ・地域や社会をよくするために考えることがある生徒が少ない。 ・学習に対しては将来役に立つと考えている生徒は多いが、好きだと肯定的に答えたり、コロナで休校期間中に計画的に学習を続けることが出来た、規則正しい生活を送っていたと答えたりしている生徒が少ない。

2① 授業の充実に向けた重点的な取組

<p>【国語】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章を読んで自分が感じたことや考えたことを書く活動を通して、自分の考え方を育てるようにしていく。 ・文章を繰り返し確認することや、文章の構成を考える活動を授業内で設定していく。 <p>【数学】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どの領域においても、判断した理由を説明することが苦手な生徒が多い。そのため、ペアや小グループで考えた理由を話したり、聞いたりする活動を充実していく。また、生徒が取り組む課題には、日常生活や社会の事象を題材とした問題を取り上げるよう工夫し、資料の活用の領域では、複数のデータの分布の傾向を読み取ったり、考察したりする活動を設定していく。

2② 家庭(地域)への発信内容(協力依頼事項)

※家庭で取り組んでほしい内容や地域の方に知っておいてほしい内容

<ul style="list-style-type: none"> ・ご家庭の協力のおかげで、「学校に行くのが楽しい」「友達と協力するのは楽しい」と感じている生徒が非常に多いです。 ・学習については「将来役に立つ」と感じながらも、「将来の夢や目標を持っている」、「家で自分で計画を立てて勉強している」と答えている生徒は少ないです。将来の夢や目標を持てるような話題や場面づくりをお願いします。 ・地域の行事に参加したり、地域や社会をよくするために何をすべきかを考える場面も少ないようです。ご家庭でも話題にしてみてください。
--